

DRUG



INFORMATION

2011 No. 57

平成23年12月19日発行

5-FU 注 1000mg の調剤方法と保管方法を変更します !!

岐阜大学医学部附属病院・薬剤部
医薬品情報管理室
(内線7083)

※ Drug Information は医学部・附属病院 HP の下記アドレスにて提供しています。
<http://www1.med.gifu-u.ac.jp/web/drug-info/>

電子メールによる連絡を希望される方は下記までご連絡下さい。
di8931@gifu-u.ac.jp (担当：安田)



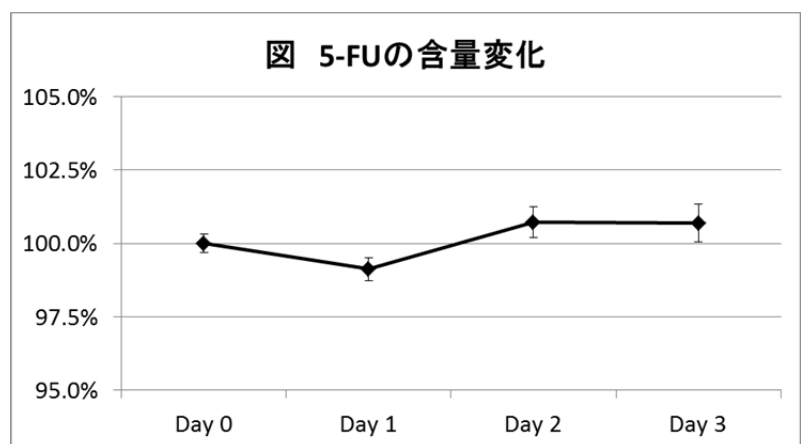
5-FU 注 1000mg の調剤方法と保管方法を変更します !!

抗悪性腫瘍剤 5-FU 製剤につきましては、これまで当院では「5-FU 注 250 協和」（以下 250mg 製剤）のみを採用してきましたが、本年 9 月に「5-FU 注 1000mg」（以下 1000mg 製剤）が追加採用になりました。両製剤は 5-FU の濃度や添加物の組成は全く同一の薬剤ですが、250mg 製剤は室温で保管する薬剤であるのに対し、1000mg 製剤は安定性の問題のため冷所で保管する薬剤となっており、250mg 製剤と 1000mg 製剤で保管方法が異なります。

この度、1000mg 製剤と 250mg 製剤の両製剤が含まれる下記処方の調製において、1000mg 製剤と 250mg 製剤が別々に保管されていたため、冷所に保管していた 1000mg 製剤の調製を行わないまま投与してしまった事例が報告されました。

Rp1	5-FU 注 250mg 協和 5mL	250mg	冷所で保管 混合を忘れてしまった！
	5-FU 注 1000mg 20mL	1000mg	
	テルモ生食 1L	1 袋	

薬剤部では 1000mg 製剤を室温で保管することが可能か検討する目的で安定性試験を実施したところ、図に示した結果が得られ、含量誤差の変動率は 1 日目 が 0.75%、2 日目 が 0.99%、3 日目 が 1.23% であり、3 日目における変動率は、当院の抗がん剤調製において設定されている含量誤差基準 5% を大きく下回ることが明らかになりました。



そこで、本結果に基づき、1000mg 製剤の調剤・保管に係る運用を **12 月 20 日(火)** より下記の通りに変更します。つきましては貴下職員に周知いただきますようお願い致します。

○薬剤部では冷所に保管し、返却された場合も同様に冷所に保管する。

○個人セットにて払出す場合には、室温保管の薬剤として調剤を行い 250mg 製剤と同一のトレイにセットする。病棟においても室温保管の薬剤として管理する。

○注射オーダの薬品マスタを変更し、注射指示箋に「冷」の文字が印字されないよう設定する。

不明な点につきましては、薬剤部・医薬品情報管理室（内線 7083）までご連絡下さい。